

岡山大学附属病院 整形外科

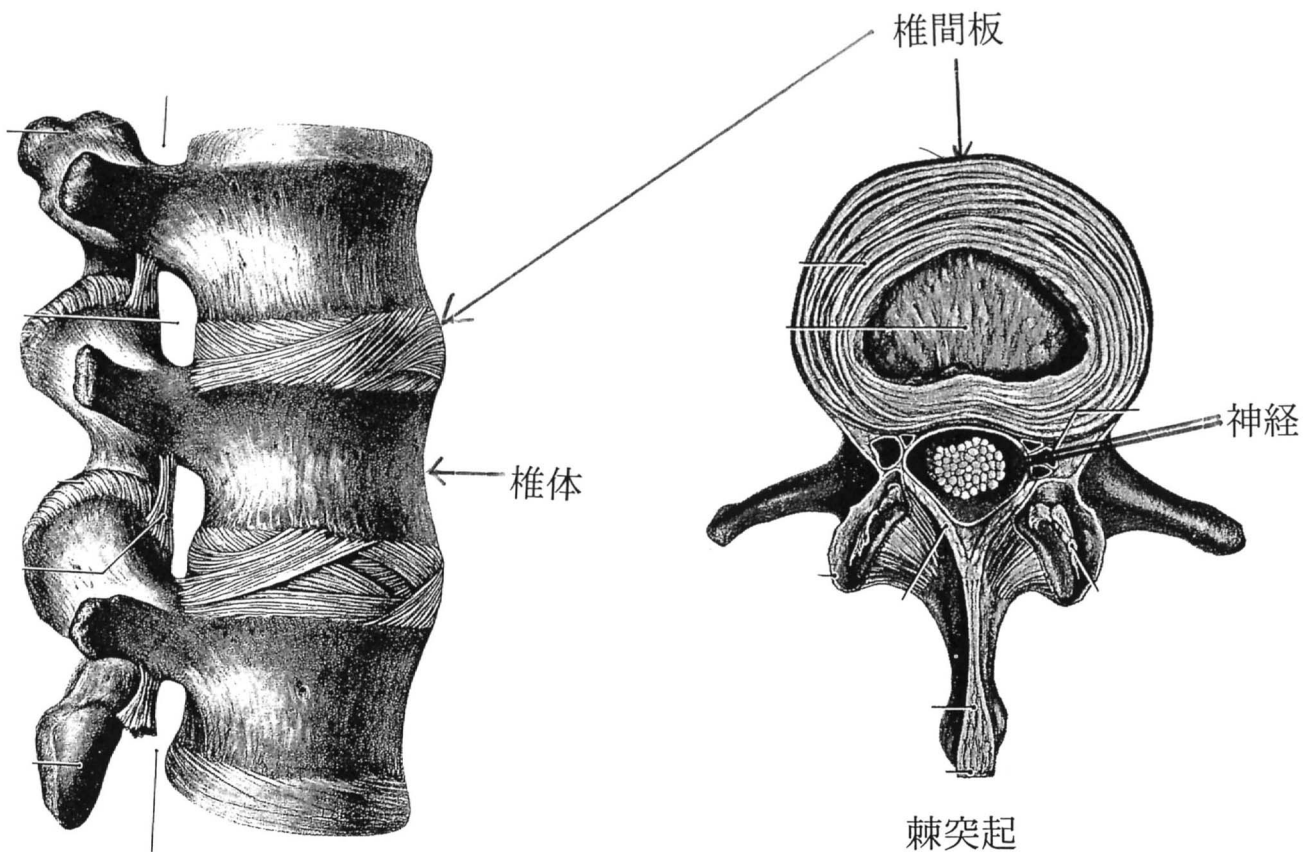
岡山市 鹿田町 2—5—1

電話 086—223—7151

脊椎脊髄外科担当 田中雅人

腰椎の手術を受ける患者様へ

腰椎のしくみ

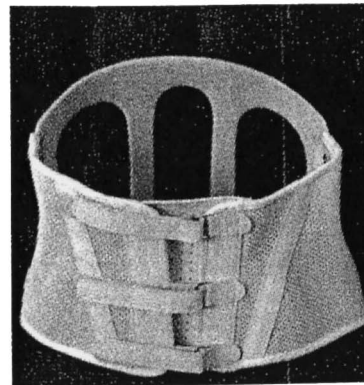
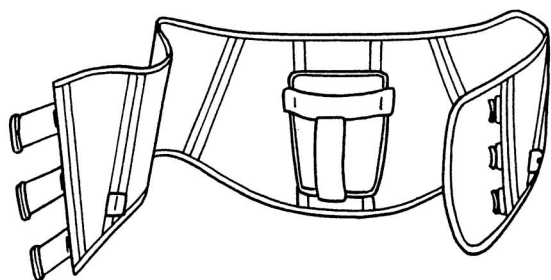


体重の約半分が**背骨（腰椎）**で支えており、残りの半分は**腹圧**といって腹筋や背筋などのでつくられた**圧**によって支えられています。腰椎の悪い人はこの**両方**がダメになっていることが多いです。

腰椎の手術後について

コルセットについて

コルセットは座れるようになってから
術後3ヶ月の間行います。
金属を併用した場合には痛みがとれる
4-5日目には歩行ができます。
その他は10日ぐらいベッドで安静ですが、
横向きやベッドをやや起こすことはできます。



退院後の注意点

日常生活について

1. コルセット 術後約3ヶ月はつけますが、寝ているときや横になってくつろいでいる時、入浴時ははずしてもかまいません。
2. 車の運転 原則としてコルセットのつけている間は控えましょう。ただし2ヶ月を過ぎれば隣に乘坐してもらうのはかまいません。
3. スポーツ 原則としてコルセットのつけている間は控えましょう。激しいスポーツは6ヶ月は厳禁です。
4. その他 その他わからないことは主治医に相談してみてください。

2. ヘルニア切除術

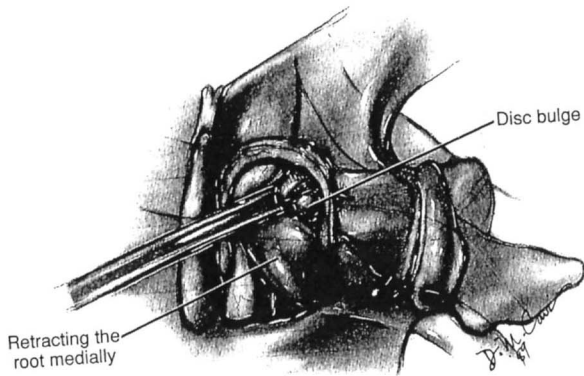
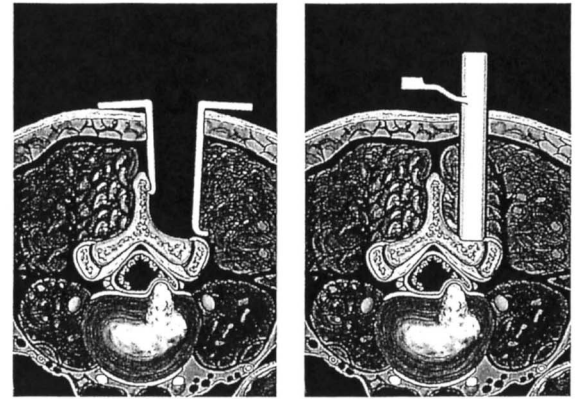


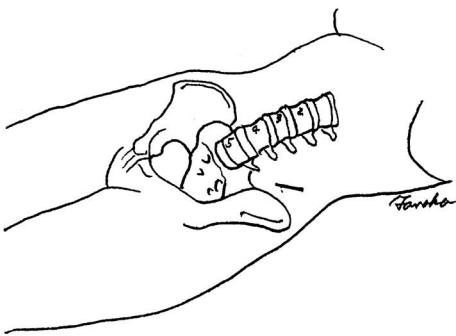
Figure 1.6.



MicroDisc

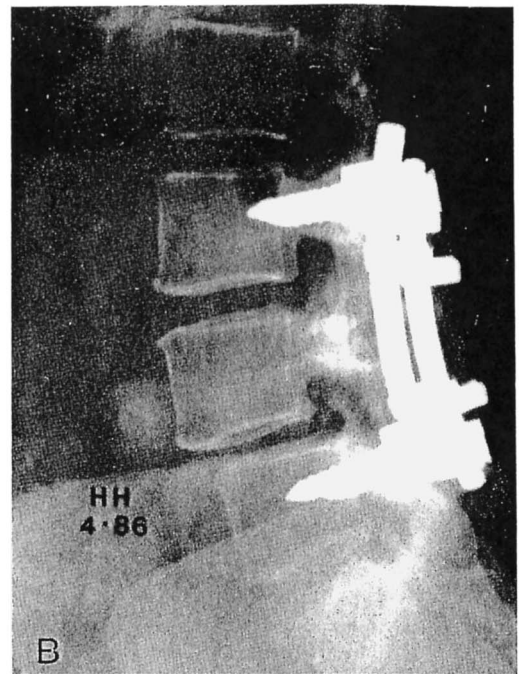
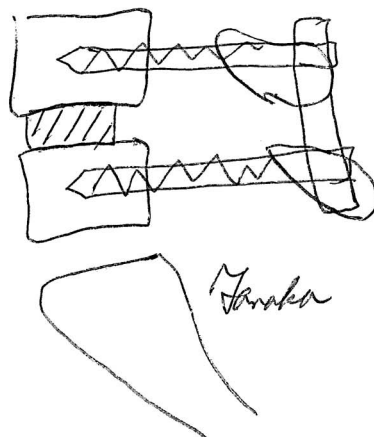
MED

3. 腰椎前方固定術



4. 腰椎後方椎体間固定術

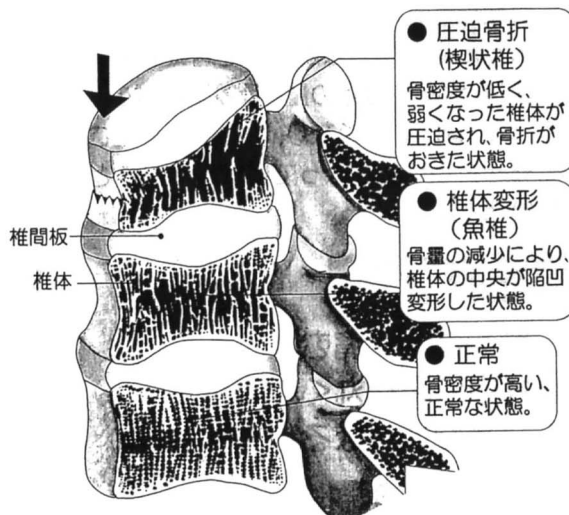
(腰椎後側方固定術)



4. 骨粗鬆症性椎体圧潰

原因： 腰の骨がスカスカに薄くなって弱くなり骨が潰れてその中にある神経を圧迫して足の症状を引き起こします。

症状： 激しい腰痛、足の痛み、しびれ、脱力、歩きにくい、尿や便がでにくいなど。
尿や便がでにくい



5. リウマチ性腰椎症

原因： リウマチによって腰の骨や軟骨が破壊されてグラグラして馬尾や神経根を圧迫して足の症状を引き起こします。

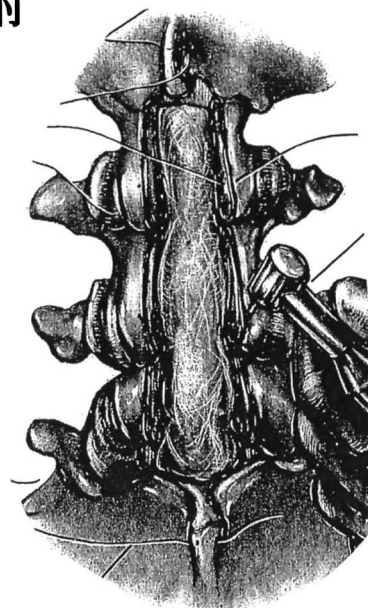
症状： 激しい腰痛、足の痛み、しびれ、脱力、尿や便がでにくいなど。

6. その他

腫瘍、化膿性脊椎炎、透析脊椎症

腰椎の手術

1. 腰椎椎弓切除術

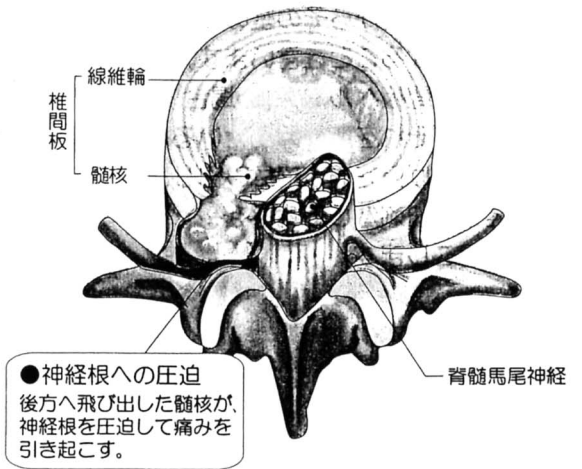


腰椎の病気

1. 腰部椎間板ヘルニア

原因： 腰の椎間板という軟骨がとび出して足にいく神経を圧迫して坐骨神経痛や足の症状を引き起こします。

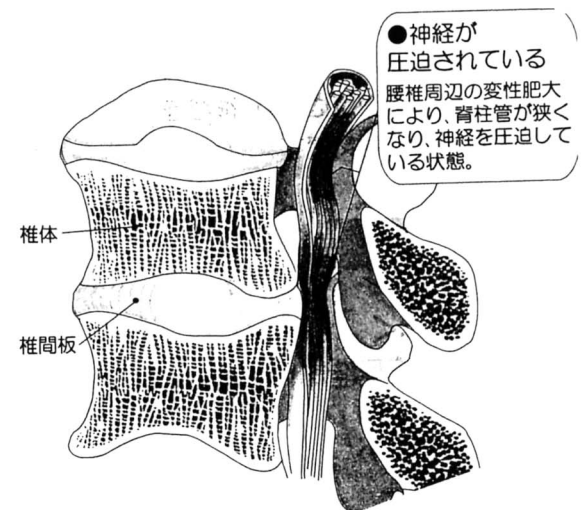
症状： 足の痛み、しびれ、脱力、歩きにくい、腰痛、尿や便がでにくいなど。



2. 腰部脊柱管狭窄症

原因： 腰椎の老化に伴い骨の棘が脊柱管という神経の入る管を圧迫して足の症状を引き起こします。

症状： 足の痛み、しびれ、脱力、腰痛
長時間の歩行ができない。



3. 腰椎変性（分離）すべり症

原因： 腰椎が前方にすべって、ずれて脊柱管という神経の入る管を圧迫して足の症状を引き起こします。

症状： 足の痛み、しびれ、脱力、
長時間の歩行ができない。
尿や便がでにくい

